

1



教養は、生き抜くための「最強の武器」になる。池上彰が、「教養」とは何か、学ぶとどんないいことがあるのかを説明。

『池上彰の教養のススメ』
池上彰 (著) 日経BP社

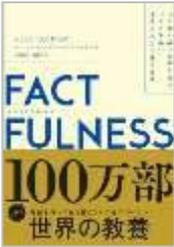
2



いま最も注目される起業家・前田裕二による渾身のメモ術！誰にでもできるけど、誰もまだ、その魔力に気付いてない「本当のメモの世界」へ、ようこそ。

『メモの魔力』
前田裕二 (著) 幻冬舎

3



ファクトフルネスとは一データや事実にもとづき、世界を読み解く習慣。10の思い込みから解放されれば、癒され、世界を正しく見るスキルが身につく。

『FACTFULNESS : 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』 ハンス・ロスリング他 (著) 日経BP社

4



ゲームAI手法を様々な実例で解説し、実際にゲームAIを構築できる技法の習得を目指す。さらに人間らしいゲームAIや深層学習、機械学習、強化学習についても解説。

『ゲームAIと深層学習 : ニューロ進化と人間性』
伊庭育志 (著) オーム社

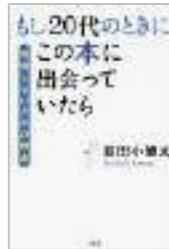
5



「最後まで読まなくていい」「アウトプットを優先し不要な本は読まない」など、読書が苦手な人でも仕事や勉強を効率よく進めるためのヒントが満載。合理的な読書術を伝授。

『理科系の読書術 : インプットからアウトプットまでの28のヒント』 鎌田浩毅 (著) 中央公論新社

6



「なにもものでもない」時代は不安でつらい。まずは、そこから抜け出るための読書7則。本はすべてのことを教えてくれる！

『もし20代のときにこの本に出会っていたら : 後悔しないための読書』 鷲田小彌太 (著) 文芸社

7



「生きづらさ」「働き方」「お金」「食」「幸福」「死」といったテーマで各章を構成。250冊を超える古今東西のおもしろい本を縦横無尽に紹介する読書エッセイ。

『千年の読書 : 人生を変える本との出会い』
三砂慶明 (著) 誠文堂新光社

8



靖国問題、日韓関係、捕鯨、女性差別などの論点で、日本を貶めてきた欧米リベラル系メディアのひどい「物言い」「フェイクニュース」を紹介する。

『日本を貶めるフェイクニュースを論破する!』
JAPAN Forward編集部 (著) PHP研究所

9



わが国固有の伝統精神、武士道。1899年新渡戸稲造が英文で『武士道』を発表し、世界的な大反響を巻き起こした。本書はその現代語訳版。

『武士道(いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ:2)』
新渡戸稲造 (著) 致知出版社

10



「成功と幸福とは違う」と悟った千九郎は「よりよく生きるための指針」を追及し、人類の歴史の中に見出した不変の真理を書き遺した。新たな倫理観を確立した偉人の箴言集！

『「三方よし」の人間学 : 廣池千九郎の教え105選』
廣池千九郎 (著) PHP研究所

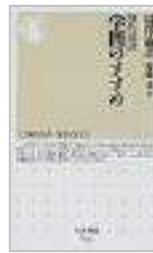
11



なぜ東西の地で同時並行的に、思想の変革が起きたのか？
原典をふまえ、人類史の謎と意義を解明する。

『人類史の精神革命：ソクラテス、孔子、ブッダ、イエスの生涯と思想』 伊東俊太郎（著） 中央公論新社

12



「**天**は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」。
福澤諭吉が、生来平等な人間に差異をもたらす学問の意義を、平易な文章で説いた17の小篇。

『学問のすすめ：現代語訳』 福澤諭吉（著） 筑摩書房

13



精神も自我も社会的現象である。人間を人間たらしめている条件とは何か、人間社会の成立と発展の条件とは何かをめぐるミードの思索は、ほかに類をみない。

『精神・自我・社会：（デュイ=ミード著作集：6）』 G.H.ミード（著） 人間の科学社

14



ナチスの非合理主義の嵐のなか、ひそかに書き継いだ現象学的哲学の総決算。
時代批判を近代ヨーロッパ文化形成の歴史全体への批判として展開する。

『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』 エドムント・フッサール（著） 中央公論社

15



「**甘**え」は日本人独特の心理である。「甘え」という概念について、その論理や病理など多角的に論じる。変質しつつある日本社会の危機を分析した「甘え今昔」を加えた増補普及版。

『「甘え」の構造 増補普及版』 土居健郎（著） 弘文堂

16



論理的思考法は目的に応じて使い分ける技術が必要。論理学・レトリック・科学・哲学の推論型と四つの価値に基づく思考法を通して、不確実な世界で主体的に考える力を養う。

『論理的思考とは何か』 渡邊雅子（著） 岩波書店

17



誰もがみな本能的に失敗を遠ざける。だからこそ、失敗から積極的に学ぶごくわずかな人と組織だけが「究極のパフォーマンス」を発揮できる。

『失敗の科学：失敗から学習する組織、学習できない組織』 マシュー・サイド（著） ディスカヴァー・トゥエンティワン

18



アドラー心理学は、現代の日本にこそ必要な思想。対人関係に悩み、人生に悩むすべての人に贈る、「まったくあたらしい古典」

『嫌われる勇気』 岸見一郎、古賀史健（著） ダイアモンド社

19



私だけがのけ者にされ、みんなから悪く言われている…。そう感じてしまうのはなぜか。その仕組みを考察。人生の台本を紡ぎ直し、自分らしく生きるためのヒントを説く。

『ハブられても生き残るための深層心理学』 きたやまおさむ（著） 岩波書店

20



プレゼントが気に入らなくても、「気に入った」って言わなきゃいけない？
どうするのが正しいことなのかわからないこと、その考え方の道筋がわかります。

『なぜウソをついちゃいけないの？：ゴットフリートおじさんの倫理教室』 ライナー・エアリッガー（著） ベストセラーズ

21



新自由主義の「自己責任」論は、人々を分断し、孤立させる。誰かに責任を押し付けるのではなく、別の誰かに頼ったり、引き継いだりすることで、責任が全うされる社会へ。

『生きることは頼ること：「自己責任」から「弱い責任」へ』
戸谷洋志（著） 講談社

22



ひとは幸福になるために生きているけれど、幸福になるようにデザインされているわけではない。8つの人生パターンから「幸福」のカタチを選択するヒント。

『幸福の「資本」論：あなたの未来を決める「3つの資本」と「8つの人生パターン」』
橋玲（著） ダイヤモンド社

23



「人を動かす三原則」
「人に好かれる六原則」
「人を説得する十二原則」など、身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。

『人を動かす』
D.カーネギー（著） 新潮社

24



「品性を第一資本とし、金を第二資本とす」道徳経済一体思想を説いた偉人の箴言集。「出藍の経営」「値切らずに安く仕入れる方法」など、現代経営者の拠り所となる1冊。

『「三方よし」の経営学：廣池千九郎の教え99選』
廣池千九郎（著） PHP研究所

25



後悔のない人生のために、20代のいま、何をすることができなのか。ベストセラー『ユダヤ人大富豪の教え』の著者が、20代のあなたに送る、17のメッセージ。

『20代にしておきたい17のこと』
本田健（著） 大和書房

26



お金の力を正しく知って、思い通りの人生を手に入れよう。変化の時代のサバイバルツールとして世界中で読まれ続けるベスト&ロングセラー。

『金持ち父さん 貧乏父さん：アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学』
ロバート・キヨサキ（著） 筑摩書房

27



間違い転じて福となしてきたノンフィクション作家が、間違える人生の面白さを楽しく伝える！！破天荒な生き方から得られた人生訓 10 箇条！

『間違り力』
高野秀行（著） KADOKAWA

28



教養とは答えの無い問いを問い続ける力。21世紀の新たな教養とは何か。

『教養を磨く：宇宙論、歴史観から、話術、人間力まで』
田坂広志（著） 光文社

29



置かれたところこそが、今のあなたの居場所。時間の使い方は、そのままのちのちの使い方。自らが咲く努力を忘れてはなりません。心迷う人へ向けた、国民的ベストセラー。

『置かれた場所で咲きなさい』
渡辺和子（著） 幻冬舎

30



貧困、いじめ、勇気、学問…。今も昔も変わらないテーマに、人間としてどう向き合うべきか。生き方の指針となる言葉が沢山示されている。時代を超えた名著。

『君たちはどう生きるか』
吉野源三郎（著） 岩波書店

31



言葉はいつも生きる喜び、希望、勇気、力を与えてくれた。
40年の歴史を誇る人間学誌『致知』、10万人を超える読者が心を鼓舞された名言。

『十万人が愛した言葉』
藤尾秀昭（監修） 致知出版社

32



なぜ、世界は5大「文字世界」でできているのか？人類史を「文字」に着目したオリジナルな区分でとらえなおし、世界史の流れが一気につかめる驚異の「世界史」講義。

『大人のための「世界史」ゼミ』
鈴木董（著） 山川出版社

33



あの日、日本で起きた事。起きなかった事一。8月15日をめぐる24時間を、綿密な取材と証言を基に再現する、史上最も長い1日を活写したノンフィクション。

『日本のいちばん長い日 決定版』
半藤一利（著） 文藝春秋

34



長く忍従を強いられながらも、独自の文化を失わず、有為の人材を輩出し続けたウクライナ。ヨーロッパ第二の広い国土を持つ、知られざる「大国」の素顔に迫る。

『物語ウクライナの歴史：ヨーロッパ最後の大国』
黒川祐次（著） 中央公論新社

35



明治30年、福沢は速記者を前にして、60年の生涯を口実し、自伝をかきあげた。近代日本の激動期を背景に、常に野にあって独立不羈をつらぬいた精神の歩みが語られる。

『福翁自伝』
福沢諭吉（著） 岩波書店

36



南部せんべいの巖手屋創業者シキさんの実話。兄妹の死、親戚からのいじめ、貧しさと寒さに堪え、子育てしながら戦争を乗り越え、生き抜いた。懐の広さ、行動力が半端ない！

『むすんでひらいて：おばあちゃんの南部せんべい物語』
小松シキ（著） 巖手屋

37



平気で列に割り込む、自慢話ばかりする—中国人がものを判断し、反応する時の「クセ、反応の相場」は中国社会のどのような仕組みから生まれたのかを明らかにする。

『スッキリ中国論：スジの日本、量の中国』
田中信彦（著） 日経BP社

38



自由と平等をモラルという側面から見直してみる。我々が属する家庭、学校、社会、国家、国際社会といった人間の集団の課題について、道徳的な解決策を考える。

『国家と道徳：令和新時代の日本へ』
廣池幹堂（著） 文藝春秋

39



84歳の知性が考え抜いた究極の人間論。ヒトという生物であると実感し、あらためて問い直す。人生そのものが不要不休ではないか。生きる価値はどこにあるのか。

『ヒトの壁』
養老孟司（著） 新潮社

40



私たちの暮らす社会の経済構造を把握し、そこから生まれる問題を解決するために一。理論、歴史、統計の重要性と限界に向き合う。

『経済社会の学び方：健全な懐疑の目を養う』
猪木武徳（著） 中央公論新社

41



驚くべき中国教科書の実態、日本からの累計6兆円にも及ぶ援助金が何に使われているのか。日中関係の実態、真の日中友好の在り方を説く、驚愕のレポート。

『日中再考』

古森義久（著）産経新聞ニュースサービス

42



これまでの経済学では、人は合理的に行動するものと考えられてきた。だが、本当にそうだろうか。行動経済学の第一人者が私達を動かすものの正体を解説。

『予想どおりに不合理：行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」増補版』ダン・アリエー（著）早川書房

43



複雑な社会や日常の暮らしが、どのような仕組みで成り立っているのか、ゲーム理論で解き明かす。生きづらい社会で生きる人のための道標。

『ゲーム理論はアート：社会のしくみを思いつための繊細な哲学』松島斉（著）日本評論社

44



誰かに伝えずにはられない、世界の事実がここにある。アフリカで人道支援に取り組んできた原貴太氏が、独自の切り口で世界の諸問題に迫る。

『あなたとSDGsをつなぐ「世界を正しく見る」習慣』原貴太（著）KADOKAWA

45



京都のメッキ工場から、45歳でホテル開業。遅咲き経営者はなぜ成功できたのか？ 掟破りの人生指南書。

『儲けと品性』

清水幸雄（著）扶桑社

46



実業界の父が、生涯を通じて貫いた経営哲学とは…。明治期に資本主義の本質を見抜き、470社を設立した彼の言葉は、指針の失われた現代にこそ響く。

『論語と算盤：現代語訳』

洗沢栄一（著）筑摩書房

47



「**S**DGsをビジネスにどう活かすことができるのか」という視点に軸をおいて構成。広くSDGsについて1冊で理解したいという人にお勧め。

『SDGs入門』

村上芽、渡辺珠子（著）日本経済新聞出版

48



エッセンシャル思考は、本当に重要なことを見極め、実行するための方法論。目指す生き方は、「より少なく、しかしより良く」。99%の無駄を捨て1%に集中する方法！

『エッセンシャル思考：最少の時間で成果を最大にする』グレッグ・マキューン（著）かんき出版

49



「**頭**のいい人」が何をどう考えているかを明確にし、誰でも思考の質を高め、「頭のいい人」になれる方法を伝授。

『頭のいい人が話す前に考えていること』

安達裕哉（著）ダイヤモンド社

50



7カ国に住み、60カ国以上の人たちと共に働いてきた著者が、人付き合いのコツ、英語の学び方を伝える。

『世界で働く人になる！：人づきあいと英語のスキルを劇的に上げる41の方法』田島麻衣子（著）アルク

51



どうやったらお金を増やすことができるのかに悩む人々へ送る、簡単にできる、節約、資産を増やす方法、投資まで…お金を増やすため、人生を豊かにするためのヒントが満載。

『ジェイソン流お金の増やし方：コレだけあれば貯まる!』 厚切りジェイソン(著) ぴあ

52



豊かな経済生活を営み、人間的に魅力ある社会の安定的維持を可能にする社会的共通資本。その考え方を経済学史の中に位置づけ農業、都市など具体的テーマに即して明示。

『社会的共通資本』 宇沢弘文(著) 岩波書店

53



「資格よりも場」「序列意識」「ウチとソト」など、日本社会独自の構造を鮮やかに解き明かした「タテ」の理論。現代日本の抱える問題を「タテ」の理論を使って読み解く。

『タテ社会と現代日本』 中根千枝(著) 講談社

54



コミュニケーションの基本である会話がうまくいくようになる“ちょっとした”でも多くの人が気づいていないエッセンス。人と話すことがラクになり、人生がよりよい方向に動き出します!

『人は話し方が9割<2>：1分でもっと人を動かし、100%好かれる話し方のコツ』 永松茂久(著) すばる舎

55



学校や職場でマイノリティとどう向き合うか。「LGBT」を手掛かりとして、多様な性のありかたを知る方法を学ぶための一冊。

『LGBTを読みとく：クィア・スタディーズ入門』 森山至貴(著) 筑摩書房

56



この世には「反省以前の子ども」が沢山いる。認知力が弱く「ケーキを等分に切る」ことすらできない。「境界知能」の人々を社会生活に導くメソッドを公開。

『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口幸治(著) 新潮社

57



パブリック・スクールこそ、イギリス人の性格形成に基本的な重要性をもっている。著者がイギリスの学校生活を通じて感じた人間性や教育システムを、日本の教育と比較して描く。

『自由と規律：イギリスの学校生活 改版』 池田潔(著) 岩波書店

58



まるで世界の縮図のようなこの学校では、いろいろあって当たり前、みんなぼくの大切な友だちなんだ。ぼくとパンクな母ちゃんは、ともに悩み、毎日乗り越えていく。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 フレイディみかこ(著) 新潮社

59



大学の仕組みや勉強の仕方について、「高校までとはどう違うのか」という視点から、わかりやすく紹介。新入生向けオリエンテーションに最適のテキスト。

『大学新入生ハンドブック：大学生活これだけは知っておきたい』 世界思想社編集部(編) 世界思想社

60



「もっと頑張れ!」とか、「若いうちは勉強しなきゃダメだ!」といった精神論では、問題は解決しない。大学生が勉強する「システム」を作る。現実的な解決策を紹介。

『なぜ日本の大学生は、世界でいちばん勉強しないのか?』 辻太一郎(著) 東洋経済新報社

61



語 学力は天性の才能ではない。「日本語&英語」は、学べば学ぶほど脳を鍛える効果抜群の筋トレ！大人こそ身につけたい「言葉」の勉強法。

『脳がワクワクする「語学」勉強法』
茂木健一郎（著） PHP研究所

62



陸 中遠野郷に伝わる口碑を簡古かつ気品ある文章で書きとめた「遠野物語」、併収の「山の人生」。柳田学の展開を画する記念的労作。

『遠野物語・山の人生』
柳田国男（著） 岩波書店

63



戦 略とは何か。勝ち抜き生き残るために、いかなる戦略をとるべきなのか。思想家たちの叢智が結集された戦略論の中から、現代人必読の12冊を厳選。

『戦略論の名著：孫子、マキアヴェリから現代まで』
野中郁次郎（著） 中央公論新社

64



素 数ってなに？数のひみつをモンスターが教えてくれる！色々なモンスターと遭遇して、素数の面白さを発見する旅に出かけましょう。

『素数モンスター：100までの数とそのキャラクターたち』
R.E.シュルツ（著） 数学書房

65



気 候変動や戦争などの危機に直面する今、生命誌研究のバイオニアが、科学の知見をもとに、古今東西の思想や文化、実践活動の成果をも取り入れて「本来の道」を探る。

『人類はどこで間違えたのか：土とヒトの生命誌』
中村桂子（著） 中央公論新社

66



人 体の知識、医学の偉人の物語、ウイルスや細菌の発見やワクチン開発のエピソード、現代医療にまつわる意外な常識などを紹介。医学の奥深さを伝える一冊。

『すばらしい人体：あなたの体をめぐる知的冒険』
山本健人（著） ダイアモンド社

67



ジ ョブズはわが子にiPadを与えなかった?! うつ、睡眠障害…最新の研究結果があぶり出す恐るべき真実。教育大国スウェーデンを震撼させ、社会現象となったベストセラー。

『スマホ脳』
アンデジュ・ハンセン（著） 新潮社

68



2 1世紀、地球上に起こった主な環境問題をテーマごとにわかりやすく理解できる本。著者独自の視点で、わかりやすく伝える科学読み物。

『地球環境問題がよくわかる本 改訂版』
浦野紘平、浦野真弥（著） オーム社

69



身 近な問題として注目される気候変動、自然災害の多発、それに伴う食料安全保障、食品ロス問題などを取り上げ、個人レベル、政策レベルで何をする必要があるかを考える。

『SDGs時代の食・環境問題入門（シリーズ食を学ぶ）』 吉積巴貴ほか（著） 昭和堂

70



6 0分で読めるけれど一生あなたを離さない本。《アイデアをどうやって手に入れるか》という質問への解答がここにある。

『アイデアの作り方』
ジェームス・W・ヤング（著） 阪急コミュニケーションズ

71



USJはなぜ勝ち続けるのか？ ビジネスを劇的に変える勝率97%の思考法。「マーケティング」を重視する企業になって、劇的に変化！

『USJを劇的に変えた、たった1つの考え方：成功を引き寄せるマーケティング入門』森岡毅（著） KADOKAWA

72



1962年の国際空港を成田に立地するという閣議決定から、25年に渡る苦難の対決をまとめる。工業化・開発至上主義に由来する戦後日本の悲劇の本質が浮彫りされる。

『「成田」とは何か：戦後日本の悲劇』宇沢弘文（著） 岩波書店

73



敵 選名画をヒントに、西洋美術の「革命」がわかる。ルネサンス、印象派、抽象画、ポップ・アートまで。現代を生きる大人の新しい必須知識！「この絵、いいね」以上が語れる。

『武器になる知的教養西洋美術鑑賞』秋元雄史（著） 大和書房

74



語学は魔法の剣！学んだ言語は25以上の辺境ノンフィクション作家による、超ド級・語学青春記。自身の語学体験に基づき、言語を楽しく考察。自動翻訳時代の語学の意味とは。

『語学の天才まで1億光年』高野秀行（著） 集英社インターナショナル

75



シャドーイングの効果を科学的根拠とともに解説し、その学習方法を提案。効率のよい外国語習得の理論と実践法を科学的データに基づいて提供。

『外国語を話せるようになるしくみ：シャドーイングが言語習得を促進するメカニズム』門田修平（著） SBクリエイティブ

76



「**外**国語が身につく」とき、学習者にはどんな変化がおきているのだろう。独自の研究分野として発展してきた「第二言語習得研究」の最前線を紹介する。

『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得論への招待 新版』白井恭弘（著） 岩波書店

77



すごく感動したのに「おもしろかった」しか言葉がでてこない…！せっかく出会えた好きな作品や人について語ることは、あなたの人生の素晴らしさについて語ることなのです！

『「好き」を言語化する技術：推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい！」しかでてこない』三宅香帆（著） ディスカヴァー・トゥエンティワン

78



英語学習の成功者たちはこうして学んだー。ポキャブラリーの学習法は？学習の段取りは？要注意の学習法って…？勉強の仕方に悩むすべての外国語学習者必読の一冊。

『「達人」の英語学習法：データが語る効果的な外国語習得法とは』竹内理（著） 草思社

79



芸 大生ミハルが「渡芬」したのはフィン語の辞書もない70年代末。個性溢れる仲間と共に極寒の冬も混浴サウナもどうにか乗り切った、抱腹絶倒の留学体験エッセイ！

『フィンランド語は猫の言葉』稲垣美晴（著） 猫の言葉社

80



坂村真民が半世紀に及ぶ詩作生活のなかで歌いあげた一万余篇の中から、「鳥は飛ばねばならぬ」などの代表作を含む128篇を厳選して編んだ決定版。

『詩集 念ずれば花ひらく』坂村真民（著） サンマーク出版

81



家電メーカー勤務の尚成は、同僚と新宿の量販店に来ている。寿命を効率よく消費するために。ヒトのオス個体に宿る〇〇目線のおそらく誰も読んだことのない文字列の集積。

『生殖記』

朝井リョウ (著) 小学館

82



内定を賭けた議論が進む中、六通の封筒が発見される。彼ら六人の嘘と罪とは。そして「犯人」の目的とは一。作者が仕掛ける、究極の心理戦。

『六人の嘘つきな大学生』

浅倉秋成 (著) KADOKAWA

83



死んだ人のことなんか知らない。あたしは、誰かの代わりに生まれてきたんじゃない」ある殺人事件で絡み合う、容疑者そして若き刑事の苦悩。本当の家族とは。

『希望の糸』

東野圭吾 (著) 講談社

84



ほんの数回会った彼女が、人生の全部だった。一二人が出会った、たった1つの運命。切なくも美しい、四半世紀の物語。

『光のどこにいてね』

一穂ミチ (著) 文藝春秋

85



定時制高校の科学部に集った、年齢も経歴もバラバラの生徒たち。彼らが始めた「クレーター再現実験」とは？胸躍る青春小説の傑作。

『宙わたる教室』

伊与原新 (著) 文藝春秋

86



17歳の夏、少女たちの危険な共同生活は、ある女性の死をきっかけに瓦解し…。世界が注目する作家、圧巻のクライム・サスペンス。

『黄色い家 : sisters in yellow』

川上未映子 (著) 中央公論新社

87



わたしは、あんたの誰にも届かない52ヘルツの声を聴くよ」自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年の物語。

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ (著) 中央公論新社

88



「お前なあ、このままやと2000%成功でけへんで」ダメな僕の前に現れたゾウの姿をした神様“ガネーシャ”。その教えは地味なものばかり。僕の夢は本当にかなうの!?

『夢をかなえるゾウ』

水野敬也 (著) 飛鳥新社

89



2020年、中2の夏休みに幼馴染の成瀬が変な事を言い出した。「島崎、私はこの夏を西武に捧げようと思う」我が道を突き進む成瀬あかりから、きっと誰もが目を離せない。

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈 (著) 新潮社

90



市場評価額100億円のハイリスク案件に挑む詐欺師集団「地面師」。彼らを追う老刑事、売買先の手不動産会社。最後に微笑むのは…。

『地面師たち』

新庄耕 (著) 集英社

91



婚約者・坂庭真実が姿を消した。その居場所を探するため、西澤架は、彼女の「過去」と向き合うことになる。恋愛だけでなく生きていくうえでのあらゆる悩みに答えてくれる物語。

『傲慢と善良』

辻村深月（著） 朝日新聞出版

92



非道な母から逃れて山あいの町にたどり着いた姉妹が、隣人らに見守られながら成長していく姿を描く。芥川賞作家による感動巨編。

『水車小屋のネネ』

津村記久子（著） 毎日新聞出版

93



知人が購入を検討している都内の中古一軒家。開放的で明るい内装の、ごくありふれた物件に思えたが、間取り図に「謎の空間」が存在していた。不可解な間取りの真相とは。

『変な家』

雨穴（著） 飛鳥新社

94



人生は忘れがたい断片にいくつ出会い、心動かされたかで決まる。私はその断片を「二十代で得た知見」と名づけることにしました。

『20代で得た知見』

F（著） KADOKAWA

95



1960年プラハ。マリはソビエト学校で毎日を過ごしていた。30年後、音信の途絶えた3人の親友を捜し当てたマリは、少女時代には知り得なかった真実に会う！

『嘘つきアーニヤの真っ赤な真実』

米原真理（著） 角川学芸出版

96



日本でも圧倒的共感の声！「これはわたしの物語だ」韓国で社会現象にまで発展した1冊。女性たちの絶望が詰まったこの本は、未来に向かうための希望の書。

『82年生まれ、キム・ジヨン』

チョ・ナムジュ（著） 筑摩書房

97



自分を不完全だと思って、いつも不安と後悔を抱えているあなたへ。人間関係に疲れたとき、恋愛に傷ついたとき…痛みと向き合う勇気をくれる温かな106のエッセイ。

『アンニョン、大切な人。：どの瞬間も当たり前ではないあなたへ』 チョン・ハンギョン（著） かんき出版

98



天才に変貌した青年が愛や憎しみ、喜びや孤独を通して知る人の心の真実とは？全世界が涙した不朽の名作。

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス（著） 早川書房

99



ヘッセの深いインド研究と詩的直観とが融合して生み出された、〈東洋の心〉の結晶とも言うべき人生探究の物語。

『シッダルタ』

ヘルマン・ヘッセ（著） 岩波書店

100



1度読んだら必ず宝物にしたいくなる、この宝石のような物語は、刊行後60年以上たった今も、世界中でみんなの心をつかんで離さない。

『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ（著） 文藝春秋